

判の日の大いなる兆候（1/7）：小さな兆候

:

明:
本稿では、世のわりと判の日の前に起きる大きな兆候について取り上げます。第一部では、大きな兆候の前に れる小さな兆候について触れます。

目: [事来世 判の日とその兆候](#)

より: ジャマ ルッディ ン ザラボゾ (2012 IslamReligion.com)

日 3 Apr 2012

集日 05 Jun 2022

序



判の日がいつ れるかは、にも分かりません。しかし、神はその慈悲深さから、かれの使徒にし、それが近づいたときに れる 々の兆候について、明らかにしています。それらの兆候は、言者と同代には生きておらず、彼の教えや模を会得することが出来なかった人々にとって、重要な役割を果たします。それらは言者に する信念を 化しますし、更にそれらについて をかけて熟考することは、判の日を思い起こさせてくれます。つまり、それらの兆候は人々の目を まし、この世において自分たちが何をしているのか、そしてどこに向かっているのかを思い出させるのです。

「その」の兆候は

2 に分 されます。1つ目は日常生活において られる 化であり、それらは「小さな兆候」とされます。2つ目は、「その」の直前に起きる非日常的かつ超自然 象的なものであり、「大きな兆候」とされるものです。この投稿では大きな兆候に焦点を当てますが、まずは小さな兆候のいくつかを取り上げる はあるでしょう。

「小さな兆候」

本稿における意 としては、大きな兆候にハイライトを当てることですが、「小さな兆候」についてもその一部に言及したいと思います。通常は、よりセンセ ショナルな大きな兆候が取りざたされ、小さなものが されがちだからです。小さな兆候は、最 の日のはるか前に れることもあるもので、それらは一般的に世界情 における日々の 化に し たものとなります。小さな兆候は 数に存在し

、それらの多くはすでに起きており、これからも起きるものです²

。それゆえ、私たちの周りには多くの兆候が れているにも わらず、それらの存在、そして重要性に して 付いていない人々も大 います。事 、有名な「天使ガブリエルのハデイス」では、ガブリエルが教友たちの前に れ、最 の について教えてくれるよう 言者（神の慈悲と祝福あれ）に んだ（言者はそれ以前、それらのことについて知らされてい ました）、彼は「小さな兆候」のいくつかに言及するに留めただけでした。おそらく、それらは に することが困 、もしくは捉えがたいものであるにも わらず、人々の日常生活 崇 生活において、より必要な影 のあるものなのかも知れません。

それらの兆候を目にする者にとっては、神、そして将来的な神との を思い起こさせるものとなります。それらは神への信仰の 化、そして 言者ムハンマドの 性についての 信をもたらし、 にそれらが起きる何十年、何百年も前、 言者がすでにそれらの兆候に して言及していたという事 は、イスラ ムの真 性についての信仰を 化するのです。それゆえ、周りで何が起きているかを し、注意深く 察するのであれば、それらは大きな役割を担うこととなります。

1

小さな兆候と大きな兆候に しては、その多くがアラビア の 籍において取り われています。

2

最 の を分 化する の方法としては次のものがあります。(1) 既に起きており完了している兆候、(2) 既に起きてお 在 行形で でき、その兆候がより明らかで くなっているもの、(3) まだ起きていない兆候。これらの分 のそれぞれ と研究に します。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/613>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。